

令和3年度

# 学校教育計画



大阪府立思斉支援学校

## 目次

### I 学校教育活動の方針

1 学習指導の方針	3
2 自立活動の方針	5
3 特別活動の方針	6
4 道徳教育及び生徒指導の方針(生活指導部)	7
5 進路指導の方針(進路指導部)	7
6 人権尊重の教育の方針(人権教育委員会)	9
7 健康管理と指導の方針(健康教育部)	10
8 センターの機能の発揮・充実の方針(支援室)	12
9 学校組織の運営方針(教頭・教務部)	12
10 教員の研修方針・研修計画(研究部)	13

### II 校内組織

(1) 校務分掌表	14
(2) 学年主任、ホームルーム担任一覧表	17
(3) 児童・生徒会活動、部活動担当者(顧問)一覧表	18

# I 学校教育活動の方針

## 1 学習指導の方針

### (1) 小学部の方針

#### 1. 丈夫なからだをつくる

- ・基本的な生活リズムの確立をはかる。
- ・いろいろな運動を通して、基本的なからだの動きを身につけるとともに、体力の向上を図る。
- ・「食べる」ことの大切さを通して、健康なからだや豊かな食習慣を養う。

#### 2. 基本的な生活習慣を身につける

- ・食事や排泄、衣服の着脱などの基本的な生活習慣を身につけるため、家庭と協力しながら取り組む。できるだけ一人でできるように、自分でやりきる意欲を育てる。

#### 3. 一人ひとりの力を伸ばし、学ぶ喜び、表現する喜び、人と関わる喜びを経験する

- ・子どもたちの興味・関心を引き出し惹きつけるように授業内容を工夫して、子どもたちが意欲的・主体的に取り組めるようにする。
- ・学校生活の中心となる学級を基本に、子どもたちの発達段階に合わせた多様な学習集団を組織し、友だちや教師を意識し、自ら関わり自分の思いを相手に伝えられる力を育む。

#### 4. 個に応じた指導の充実

- ・的確な実態把握を基に児童の、個に応じた指導体制や指導内容の充実を図る。
- ・PT、OT、ST、臨床心理士等を活用し、個に応じた指導内容の充実を図る。

#### 5. 保護者と協力する

- ・子どもたちの成長を保護者と共有し、関係諸機関を含め、協力・連携しながら指導をする。
- ・保護者の願いや悩みをしっかりと受け止め、共に考えていく学校をめざす。

#### 6. キャリア教育の推進

- ・高等部卒業後の自立と社会参加に向けて、小学部段階からキャリア教育の充実を図る。
- ・人との関わりを助け、積極的に周りへ働きかける力を育てる。
- ・いろいろな学習や体験を通して、基礎的な学力と生きる力を育てる。

### (2) 中学部の方針

#### 1. 地域で豊かに生きていくために必要とされる基本的な生活習慣や体力を身につける。

- ① 日常生活に必要となる基本的な生活習慣(食事・排泄・衣服の着脱)を身につけるために家庭と連携をとりながら取り組む。また、一人でできることを増やしていく。
- ② 朝の自立活動を習慣づけることで1日の始まりのリズムをつかめるように取り組む、体力の向上を図る
- ③ 1日のスケジュールを毎朝確認することで、生活の見通しが立てられるように取り組む。

## 2. 個々の可能性を伸ばし、豊かな感性と楽しむ力を育てる。

- ① 挨拶運動を通して、挨拶がしっかりできるように取り組む。
- ② 学部・学年の学習では、個別の発達課題によるグルーピングでの学習に取り組む。
- ③ 豊かな感性と表現する力を育てるために人との関わりを大切にして取り組む。
- ④ 個々の可能性を伸ばすための個別の指導を家庭と相談しながら取り組む。

## 3. 自分自身と仲間を大切にできるコミュニケーション力をつけ、協力する心を育てる。

- ① 各種の学校行事や校外学習を通して学級・学年の仲間と協力して取り組む。
- ② 学校・学部・学年・学級などの多様な集団の中で活動することにより、仲間と協力することの喜びが感じられるように取り組む。

### (3) 高等部の方針

#### 1 教育目標

- ① 基本的な体力の向上と生活習慣の確立に努め、将来の家庭・社会生活に必要な知識・技能及び態度を養う。
- ② 集団生活を通して豊かな人間性と社会性を養い、コミュニケーション力を身につける。
- ③ 将来の自立・社会参加に向け、仲間と協力したくましく生きていく力を育成する。

#### 2 運営の重点

- ① 心身の充実を図り、主体性のある生活を営むため基本的生活習慣を確立する。
- ② 集団生活をとおして、自立と社会参加の精神を育成する。
- ③ 将来の家庭生活および社会生活に必要な知識、技能および態度を育成する。
- ④ 生徒の障がいの状況や課題に応じて、弾力的に学習集団を編成し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、キャリア教育・職業教育の推進を図り、実態に即した指導をする。
- ⑤ 地域との交流及びその地域の児童及び生徒との共同学習の組織的・計画的・継続的な指導をする。
- ⑥ 「個別の教育支援計画」をふまえ、自立活動及び各教科においては、保護者等との連携のもと、一人ひとりの障がいの状況に応じた「個別の指導計画」を作成し、計画的に指導する。

## 2 自立活動の方針

### (1) 小学部

個別の指導計画を作成し、系統的・継続的・専門的な指導をおこなうと共に自立活動の6区分を、各教科や日常生活における指導と密接に関連づけながら指導を実践していく。

1. 心理的な安定をはかる  
構造化や視覚支援により、子どもたちが見通しを持ち、安心して過ごせるようにする。
2. 集団参加の基盤を培う  
学習やあそびの中で、相手を意識したり関わったりする場面を設定することにより、人間関係の基礎をつくる。
3. コミュニケーション能力を伸ばす  
子どもたちの実態に合わせて、身振りやサイン、視覚シンボル、タブレットなど、さまざまなコミュニケーション手段を身につける。  
場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑におこなうことができるようにする。

### (2) 中学部

それぞれの生徒の実態に応じて目標を設定し、自立活動の時間及び、学校の教育活動全体を通じて指導を行う。

1. 基本的な生活習慣を身につける。一日の生活の流れを知り、毎日の生活を楽しむ力をつける。
2. 自分の発育発達に興味を持ち、健康で安全な生活を送るため必要な知識を身につける。
3. 心理的な安定をはかる  
・見通しを持って活動に参加し、心理的安定をはかる。
4. コミュニケーション能力を伸ばす  
・さまざまなコミュニケーション手段を知り、状況に応じて選択し、活用する。

### (3) 高等部

1. 卒業後の社会参加や自己実現に向けて個々の課題に応じた取り組みを行い、必要な力を培う。自立活動の指導は、自立活動に特化した時間における指導と、学校の教育活動全体を通じて行う自立活動の指導で行う。
2. 自立活動に特化した時間における指導は、各学年での課題別グループ活動で行う。

- ・基本的な生活習慣と身辺自立の向上を図る。(手洗い・ハミガキ・着替え・衣服や持ち物の整理整頓等)
- ・手指の巧緻性や視覚と運動の協応性を高める。(ペグさし・ひも結び・はさみと糊の使い方・塗り絵・折り紙等)
- ・コミュニケーション能力の向上を図る。(絵カードやシンボル等を使っての意思表示・発声練習・SST・簡単なルールのゲーム、絵本の読み聞かせ等)
- ・体調管理と体力の保持・増進、運動習慣を身につける。(ランニング・歩行訓練・筋トレ等)
- ・日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。(作文・お金・時間等、個々の課題取組み)

### 3 特別活動の方針

#### (1) 小学部

1. 委員会活動やクラスでの係活動、学部行事を通して、自分の役割を果たすことにより、一人ひとりが自信を持ち、生き生きとした学校生活を送ることができるようになる。
2. 太子橋小学校や大宮保育園との交流教育を通して、いろいろな人との関わりを楽しむ中で、社会性や豊かな人間性を育てる。

#### (2) 中学部

1. 学年集会・学級活動  
年間行事に向けて学年で協力し、学年や学級での自分の役割を意識させる。
2. 各種委員会活動  
毎月、それぞれの委員会で目標を設定し、各クラスで発表する。
3. 全校集会  
各種委員会より報告。クラブ活動や校外活動の表彰。  
2・3については学部・学年の枠を超えてお互いを意識し、活動を通じて交流を行う。

#### (3) 高等部

1. 学級(H・R)活動  
学級内の係仕事など、責任を持って行うことで自信を持ち、主体的に行動できるようにする。また、お互い助け合う気持ちの大切さを知る。
2. 学校行事  
楽しく自分を表現することで自他共に感動を味わい達成感と生きる喜びを感じる。仲間と協力し同じ目標に向かって一つになりやり遂げることで、連帯感・充実感・思いやり・協調性を培う。
3. 生徒会活動  
生徒会役員は、行事等において校内の代表としてその役割を果たし、自信を持って主体的に行動できる力、新しいことに挑戦する意欲を培う。
4. 交流活動  
同年代の仲間との交流を通して、互いに理解し助け合える存在となれるようにする。

## 4 道徳教育及び生活指導の方針

### (1) 道徳教育の方針

- ・集団での取り組みを通して、適切な人間関係を築くことや、勤労や奉仕の大切さに気付き社会の一員としての自覚を持つことを、重点目標として指導を行う。

### (2) 生活指導の方針

- ・いじめの防止に努める。
- ・問題行動防止のために、児童生徒の実態把握と問題行動発生時の対応を円滑に行い、状況に応じて学部学年が連携して指導を実施する。
- ・問題行動発生時には、保護者に連絡を取るとともに、関係諸機関と連携して指導を実施する。

### (3) 年間指導

#### 1. 生活指導

- ・生活指導部のみならず各学部でも年間計画を作成し指導を実施する。

#### 2. 搜索

- ・児童生徒の所在不明時には、対応マニュアルに従い搜索体制を実施する。

## 5 進路指導の方針

1. 生徒の社会的自立をめざし、一人ひとりに応じた進路指導を推進する。
2. 職業講話などの進路学習を通して職業観を育む。
3. 職場体験学習や施設見学、校内・現場実習などを通して、将来の自立に向けた意欲の育成を図る。
4. 保護者や地域の方々、関係諸機関との連携を深め、円滑な進路指導を行う。
5. 進学先や事業所、制度等に関する情報提供を行う。
  - ① 「進路ニュース」として、随時、事業所等の最新情報を提供する。
  - ② 学年だよりに進路に関する取り組みを寄稿し、情報発信に努める。
  - ③ 掲示板を活用し、各学部の様子や事業所等の情報を知らせる。
6. 本人・保護者のニーズを確認しつつ、随時、進路相談を実施する。
7. 関係機関である、ハローワーク、C-STEP、大阪市障がい者就業・生活支援センター、各市町村福祉課等と連携をとり、進路指導にあたる。
8. 新転任者をはじめ、経験の少ない教員への進路指導の研修を行う。

## 9. 年間計画

月	高等部	中学部	小学部	その他
4		進路保護者説明会(3年) 進路希望調査(3年)		
5	前期 校内現場実習 事前指導(全学年) 現場実習事前面接(2・3年) 前期 現場実習(全学年) 施設見学(2年)	職場体験学習事前指導(3年) 高等部校内実習見学(3年)		
6	前期校内・現場実習 事後指導(全学年) アセスメント実習希望調査(3年)	職場体験学習事前訪問(3年)		
7	進路研修(2・3年) 後期実習先希望調査(3年) 追指導	職場体験学習(3年) 職場体験学習 事後指導(3年)		PTA 進路講演会
8	追指導(9月集計、10月報告)			職員施設見学会
9	現場実習事前面接(全学年) 求職登録(3年)	進路保護者説明会(1・2年)		
10	後期 校内・現場実習 事前指導(全学年) 後期 校内・現場実習(全学年) 進路研修(1年) 校内・現場実習 事後指導(全学年) 進路保護者説明会(2年)	職業講話(2年) 職業講話(3年)		
11	利用申込先確認(3年) 進路希望調査(2年)	進路希望調査(3年)		
12	進路希望調査 集約(2年)			
1	進路希望調査(1年)	職業講話(2年) 高等部職業コース見学(3年)		進路全体研修
2	進路希望調査 集約(1年)	高等部へ願書受取・提出(3年)		
3	今年度の卒業生進路状況報告			
備考	校内実習 指導材料の確認・打合せ 進路研修の確認・打合せ 期間外現場実習 打合せ・事前・事後指導 進路情報の提供と就労指導・相談 進路相談 進路生徒面談 福祉施設関係機関との進路相談 職場開拓と随時の追指導 掲示板の活用	職場体験事業所の開拓 進路情報の提供 進路相談 他校進学者対象 追指導 掲示板の活用	進路講話 掲示板の活用	

※新型コロナウイルス感染症の影響により、取り組みの中止があります。



## 6 人権尊重の教育の方針(人権教育委員会)

### (1)人権教育委員会の目標

すべての教育活動において、人権を尊重する教育を推進する。

### (2)人権教育についての小学部の目標

自分自身と仲間を大切に作る気持ちや態度を養い、互いに協力する集団を育てる。

- ① 1・2年 友だちと仲良くする。
- ② 3・4年 友だちと協力して活動する。
- ③ 5・6年 互いの違いを尊重して助け合う。
- ④ 生活単元学習
  - ・学年集団での活動を通して、協調性・連帯性を育てる。
  - ・体験的活動を通して課題を解決する行動力、周囲の大人に助けを求める力を育てる。
- ⑤ 各教科
  - ・自分の気持ちや考えを言葉や態度で伝える力を育てる。表現活動を通して豊かな感性を育てる。花や野菜を育て、自然や生命を愛する心情を育てる。
- ⑥ 特別活動
  - ・学校行事、学部行事において、望ましい集団生活や人間関係について体験を通して学び自他を尊重する姿勢を養う。

### (3)人権教育についての中学部の目標

集団生活を通して社会参加と自立の精神を育成し、将来の家庭生活および社会生活に必要な知識、技能、および態度を身につける。

- ①国語、数学、理科・社会 人間としての生き方についての考えを深める。
- ②保健・体育 協調性・連帯性を育てる。
- ③総合 問題を解決するための行動力や豊かな人間性を養う。
- ④音楽 合唱や合奏を通して豊かな感性を育てる。
- ⑤職業 職業生活に係る、望ましい人間関係の育成。
- ⑥家庭 衣食住や消費生活など、生きていくために必要な能力の育成。
- ⑦特別活動 学級活動や学校行事等において、望ましい集団活動や人間関係について体験を通して学び、自他を尊重し社会に貢献する姿勢を養う。
- ⑧美術 表現活動や鑑賞活動を通して豊かな感性を育てる。
- ⑨生活 身近な人とのかかわりに関心をもつ。

### (4)人権教育についての高等部の目標

集団生活を通して、社会参加と自立の精神を育成し、将来の家庭生活および社会生活に必要な知識、技能、および態度を身につける。

- ①学習班 A 集団生活への参加を通して、自立に向けての態度を育む。
- ②学習班 B 集団生活への参加を通して、協力し合う中で仲間づくりをすすめる。
- ③学習班 C 集団生活への参加を通して、協力し合い認め合う中で仲間づくりをすすめ、自己の障がい受容に向けての態度を育む。
- ④学習班 D 集団生活への参加を通して、自他を尊重し社会生活に向けての意識を高める。

⑤総合的な探求・学習の時間 横断的・総合的な課題を示し、生徒の興味・関心に基づく課題や、地域の特色に応じた課題について、人権教育との関連から設定する。

⑥特別活動 集団活動を通し、より良い生活を築こうとする自主的、実践的態度を育てる。

(5)人権教育に関する教職員研修

毎年研修会を実施しており、現在計画を進めている。

(6)年間指導計画

月	小学部	中学部	高等部
4	学部集会(新入生歓迎レクリエーション)		
	毎月のお誕生会、季節の行事		
5	宿泊学習		現場実習、 校内・センター実習
	花・野菜の栽培・収穫(年間)		
6	運動会		
	クラブ活動(年間)		
7	大宮幼稚園との交流(年間)	職場体験、センター体験学習	
9	居住地校との交流(年間)		宿泊学習
			淀川清流高校運動会参加
10		今市中学校との交流	修学旅行
			現場実習、校内実習 センター実習
11	太子橋小学校との交流		
	思斉祭		
12	大阪国際滝井高校との交流(全校)		
1			
2	作品展		
3			学部集会(通年)
備考	学校行事や各学部行事の中で、個別およびグループへの人権課題の取り組みを行っている。		

## 7 健康管理と指導の方針

(1)指導の方針

- ① 安全な学校生活、健康な身体づくりの推進に努める。
- ② 衛生・美化活動を通して、学校環境の改善に努める。
- ③ 発達段階に応じた目標を設定し、食に関する指導の充実を図る。

## (2) 指導の計画

### ① 学校保健目標

- (ア) 朝の運動等を通して、児童生徒の積極的な参加、体力の向上をめざす。
- (イ) 怪我や事故の防止、病気の予防などについての理解を深め、安全な生活習慣が身につくよう、委員会活動や全校集会での指導の充実を図る。
- (ウ) 健康診断などを通して児童生徒が自らの身体に関心を持ち、命の大切さについての理解が深まるよう、保護者との連携を図りながら、系統的、段階的な教育に努める。
- (エ) 緊急マニュアルの作成、学校内での共通理解を図り、緊急時対応が安全に実施できるように努める。
- (オ) 清掃分担表を作成、大掃除の計画と実施、学校環境の改善に努める。

### ② 食に関する指導の目標

- (ア) 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。【食事の重要性】
- (イ) 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。【心身の健康】
- (ウ) 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び、安全性等について自ら判断できる能力を身につける。【食品を選択する能力】
- (エ) 食物を大事にし生産などに関わる人々へ感謝する心を持つ。【感謝の心】
- (オ) 食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。【社会性】
- (カ) 地域の物産、食文化や食に関わる歴史等を理解し尊重する。【食文化】

### ③ 年間計画

月	行事予定	備考
4	発育測定、修学旅行・宿泊学習前健康診断 清掃強化日、給食後片付け運動	・定期健康診断 (聴力・視力・内科・耳鼻科・ 歯科・眼科・尿検査・ 間接撮影・心臓検診・ 運動器検査)
5	体重測定、清掃強化日、 救急救命講習会	
6	体重測定、水泳指導	
7	体重測定、大掃除、 給食習慣(がんばりカード)、肥満相談	・校医相談(随時)
8	肥満児童生徒対象食事調べ	・性に関する指導(学期ごと)
9	発育測定、修学旅行・宿泊学習前健康診断、 清掃強化日、	
10	体重測定、清掃強化日	・食育指導(学期ごと)
11	体重測定、清掃強化日	
12	体重測定、大掃除、暖房開始、肥満相談	
1	発育測定、清掃強化日、給食週間	
2	体重測定、清掃強化日、からだすこやか健康展	
3	入学前健康診断(就学前診断)、 体重測定、大掃除	

## 8 センターの機能の発揮・充実の方針

### (1) 訪問相談

リーディングスタッフ(2名)、を中心にしたコーディネーター11名が、幼稚園や小中学校、高等学校等を訪問し、幼児児童生徒への支援や指導方法等について相談を行う。

### (2) 校内研修の講師派遣

本校のリーディングスタッフやコーディネーターが、園や学校等からの依頼を受け、講師として研修会に参加する。

### (3) 特別支援教育コーディネーター連絡協議会への参加

大阪市北区・都島区・旭区・城東区・鶴見区の特別支援教育コーディネーター連絡協議会に助言者として参加する。地域の小・中学校、高等学校との間で情報交換や協議を行う。

### (4) 教材等の紹介や貸し出し

検査器具、書籍、教材等の紹介や貸し出しを行う。

## 9 学校組織の運営方針

### (1) 学校の教育目標

地域で豊かに生きていく力の育成をめざす学校

本校において、豊かに生きていく力とは

- 1 豊かなこころ 2 楽しむ力 3 体力 4 コミュニケーション力の4つを重点とする。

### (2) 学校運営の重点

- ・知的障がいの支援学校として、計画的で効果的な研修・研究に取り組み授業力の向上をめざす。
- ・新学習指導要領を踏まえた教育課程の編成と、小学部・中学部・高等部の継続的系統的なキャリア教育の充実をめざす。
- ・特別支援教育のセンター的機能の発揮と、地域と連携した安全で安心な開かれた学校づくりを推進する。

### (3) 指導の重点

- ・教科・領域のシラバスを作成し、全学部・学年を通して各教科学習内容を系統立て、計画的に指導を展開する。
- ・高等部職業コースの取り組みを小学部・中学部とも関連させて、一貫したキャリア教育に取り組む。
- ・評価を前期・後期制とし、個別の支援・指導の一層の充実を図る。
- ・支援室リーディングスタッフを中心に、地域支援に加え校内支援体制も充実させる。

## 10 教員の研修方針・研修計画

### (1) 研修方針

教員の専門性の向上を図り、障がいのある児童生徒の指導や支援を充実に向け、研修の機会を設ける。年度ごとにテーマを決めて、よりよい授業作り、教材作りについての研修・研究を推進している。今年度は教員の校内研修会への参加率を改善することに重点をおく。

### (2) 自立活動の方針

一人ひとりが障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服する上に必要な知識・技能・態度・習慣を獲得するために、保護者と連携して個別の教育支援計画を策定し、教務部と連携し実態把握に基づいた自立活動の個別の指導計画や教科の個別の指導計画を作成し、実施する。

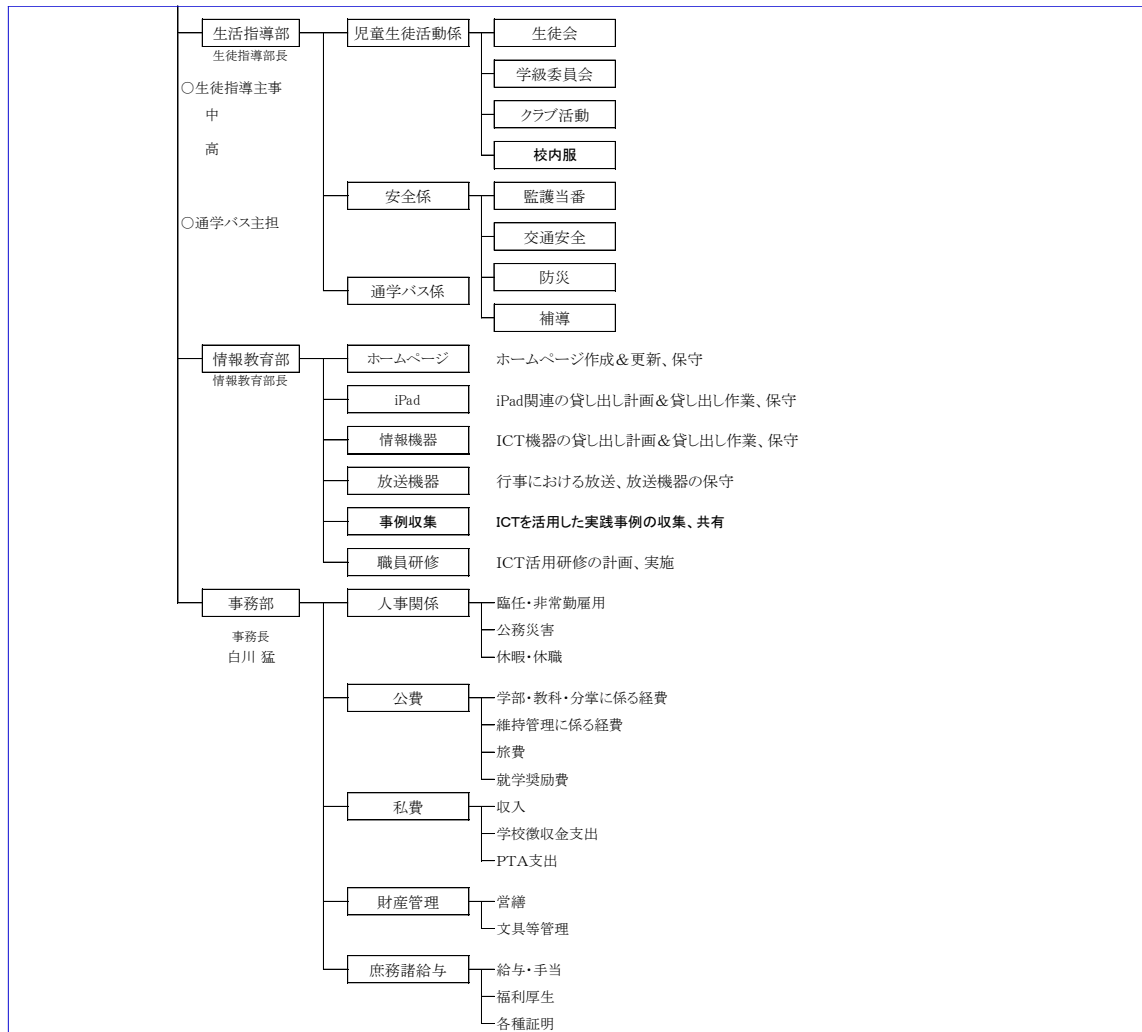
### (3) 校内研修活動の方針

- ・新転任者研修会では、校内組織や学部の取り組み、障がい特性をふまえた指導法を周知する。
- ・外部講師を招き、全体研修会や校内外向けの夏期公開講座を実施し、専門性の向上を図る。
- ・本校教員が講師となり、テーマ別、学部別研修会を実施する。研究授業や授業づくりのための意見交換等を行う。
- ・教員向けの授業見学会を実施し各学部や学年の授業の様子を共有し、系統的・段階的な授業づくりに繋げる。
- ・2年に一度、年度末に二年間の取り組みを研究紀要にまとめ、校内での振り返りと校外への情報発信を行う。

### (4) 研修計画

月		月	
4	新転任者研修会 (本校の概要と各分掌について、児童・生徒の実態把握について、校内オリエンテーション) 学部別新転任者研修会 (各学部での取り組みについて)	10	学部別研修会(小学部)
5	学部別研修会 (新入生・転入生情報交換)	11	
6	授業見学会(～12月)	12	学部別研修会(高等部)
7	夏期公開講座(4講座) テーマ別研修会(6講座)	1	全体研修会
8		2	学部別研修会(中学部)
9		3	研究紀要の発行





- ◎ 学部連絡会(校長、事務長、教頭2名、首席、教務部長、各学部主事、各学部教務主任)
- ◎ 運営委員会(校長、事務長、教頭2名、首席、教務部長、各学部主事、各学部教務主任、分掌部長)
- ◎ 予算委員会(校長、事務長、教頭1名、首席、教務部長、各学部主事、分掌部長、事務部)
- ◎ 安全衛生委員会(校長、事務長、教頭1名、衛生管理者、各学部1名)
- ◎ 人権教育推進委員会(校長、教頭1名、小学部1名、中学部1名、高等部2名)
- ◎ 道徳教育推進委員会(教務部1名、小学部1名、中学部1名、高等部1名)
- ◎ 学校保健委員会(校長、教頭1名、健康教育部長、養護教諭、各学部保健主事、学校医)
- ◎ 特別な配慮を要する児童生徒への対応委員会(校長、教頭1名、健康教育部長、養護教諭、各学部保健主事、栄養教諭、各学部給食主任、当該児童生徒在籍学級担任)
- ◎ 緊急時対応委員会(校長、事務長、教頭2名、教務部長、生活指導部長、生徒指導主事、必要に応じ校長が必要とする者)
- ◎ いじめ・体罰等対策委員会(校長、教頭2名、首席、教務部長、生活指導部長、生徒指導主事、養護教諭、必要に応じ校長が必要とする者)
- ◎ 校務分掌検討委員会 (運営委員会が兼ねる)
- ◎ 学校施設設備委員会 (運営委員会が兼ねる)
- ◎ 全校教育課程推進委員会 (学部連絡会が兼ねる)
- ◎ PTA委員会(事務長、教頭1名、首席1名、各学部1名)
- ◎ 同窓会委員会(教頭1名、小・中学部各3名 高等部各学年2名)
- ◎ 運動会実行委員会(小学部3名、中学部7名、高等部12名)
- ◎ スポーツフェスタ(中学部2名、高等部3名)
- ◎ 80周年記念委員会(教頭、首席、事務長(主査)、各学部1名、PTA代表)
- ◎ 個人情報管理委員会(校長、教頭、首席、情報部長、各学部主事、各学部1名)
- ◎ キャリア教育推進委員会(校長、教頭、首席、進路部長、支援室長、研究部長、教務部長、各学部1名)

## 令和3年度 校務分掌一覽表



## (2) 学級担任配属表

### (3) 児童・生徒会活動

本校では、児童会や中学部生徒会を組織していない。高等部生徒会は、年2回の選挙で執行部役員を選出している。

高等部生徒会では毎月複数回の会合を開き、翌月以降の活動内容についての話し合いを行っている。

#### 部活動担当者(顧問)一覧表

高等部・部活動所属・担当一覧 7月より実施予定

R3. 6

クラブ	学年別在籍		担当教員
バスケットボール 男子:18名 女子:5名 合計:23名	1年	8名	
	2年	7名	
	3年	8名	
サッカー 男子:4名 女子:1名 合計:5名	1年	1名	
	2年	1名	
	3年	3名	
水 泳 男子:4名 女子:2名 合計:6名	1年	2名	
	2年	3名	
	3年	1名	
バドミントン 男子:2名 女子:5名 合計:7名	1年	3名	
	2年	3名	
	3年	1名	
ダンス&ミュージック 男子:7名 女子:7名 合計:14名	1年	5名	
	2年	6名	
	3年	3名	
創 作 男子:1名 女子:1名 合計:2名	1年	2名	
	2年	0名	
	3年	0名	
パソコン 男子:8名 女子:2名 合計:10名	1年	3名	
	2年	5名	
	3年	2名	